

男性トイレにも サニタリーBOXを！

日本トイレ協会： 寅 太郎（運営委員） / 高橋未樹子（理事）

■ 講師：寅 太郎（日本トイレ協会 運営委員）

社会課題として解決する必要性

最近、キャスターの小倉智昭さんが、膀胱がんを患って尿漏れパッドを利用しているが、その捨て場所に困っている、という話をYouTubeなどでカミングアウトされています。

小倉さんも困っています

医療サイト 朝日新聞アピュル
大人もおむつや尿取りパッド 広げれ「男子トイレの汚物入れ」
有料記事
高橋美佐子 2022年7月26日 11時30分

これまで女性用トイレに限られた「汚物入れ（サニタリーボックス）」が、男性用も公共施設の 個室 トイレを中心に置かれ始めている。今年に入って全国で急激に広がり、一般社団法人「日本トイレ協会」と朝日新聞社が調べたところ、7県63市町（2021年7月19日現在）。前立腺 や膀胱（ぼうこう）のがんの治療などで、尿取りパッドやおむつを使うようになった人たちが増えたことも一因とされている。人生

この話を聞き、私自身も同様の体験をしていたことを思い出しました。40代の後半から55歳まで、股関節の痛み止めの座薬を多用していたのですが、座薬の成分が漏れ出てくるため、女性用ナプキンをずっと5年間、24時間つけていた時期があったのです。そのため出張など外出時にその捨て場所に非常に困っていたのでした。さらに調べると、膀胱がんや前立腺がんだけでなく、脊椎管狭窄症や高齢者の方なども、尿漏れパッドを使っている人がいることがわかってきました。

しかし、自分で困難を体験し、日本トイレ協会に属しながら、私は「男子トイレにもサニタリーボックスが欲しい」と言い出せなかった。理由を考えると、一個人の課題として考えていたからではないかと気づきました。そして、この問題を社会課題として、みんなで解決していく必要があるとの考えに至りました。男性はなかなか、自分が尿漏れパッド等を使っている、というのは言い辛いのですが、SDGsが目指す

誰ひとり取り残さない社会の実現のために、全ての人があたり前に、日常生活を送れるようにしていきたいというのが、この活動「男性トイレにもサニタリー・ボックスを！」の始まりでした。

活動の経緯と現状

2022年2月、日本トイレ協会で、男性トイレにもサニタリーボックスを設置しようというテーマで話をしました。その後セミナーを開いたり、新聞のコラムやNHKでも取り上げられたりして、この活動が共有されてきました。全国の県単位や自治体単位などでの広がりも増えてきており、把握できてる範囲で7県、256の自治体／団体が、サニタリーボックスの設置に対応してくれている状況です。

各地での対応

管理する施設にサニタリーボックスを設置している県



そのうち多く自治体では、議会で決めて、ホームページ上でも住民に案内をしてくれています。もちろんそれぞれで対応の濃淡があり、とりあえず市役所のトイレには設置する、というところから、区が管理する建物と公園の全てに設置する、と宣言してるところ（東京都江戸川区）までさまざまです。民間では、自動車ディーラー（トヨタモビリティ東京）、スーパー（イオン）、鉄道会社（JR西日本）などで、試行も含めて設置が始まっている所もあります。日常生活で使う施設では、早く設置ができるようにしていきたいと考えています。

設置にあたっては、臭いやスペースの問題、いたず

らされるリスクなど、懸念点もありますが、まずは設置してみて、困っている人が捨て場に困らないようにすることを第一と考え、取り組んでいるところです。

■ 講師：高橋未樹子（日本トイレ協会 理事）

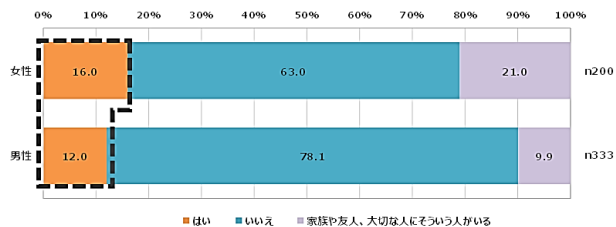
アンケート調査結果の報告

尿漏れパッド等の処理に問題のあることがわかってきたのですが、そういったトラブルを抱える人がどの位いて、具体的にどんな困りごとを持っているのか、その実態を調査してみようということになり、2022年、2月と6月にアンケート調査を行いました。

まず、排せつトラブルがあって、尿漏れパッドやオムツ等、吸収用具を使う人がどの位いるのかを調べました。

吸収用具を使用する割合

Q.あなたは排泄に関して補助的なもの（尿漏れパッド、おむつ、清浄綿、カテール等）を使っていますか？
※日本トイレ協会会員を中心に調査（2022年2月1日～2月22日）

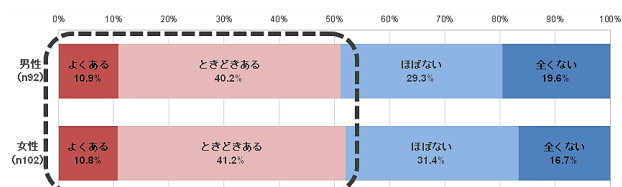


➤ 女性の16%、男性の12%が、吸収用具的使用。

これはあくまでも私たち日本トイレ協会の会員を中心に行った調査結果ではあるのですが、女性では200人のうち16%、男性では333人のうち12%が吸収用具を使っているという結果となりました。そして年代が上がるほど、使っている人の割合が増えて、70代では27.1%が使っていました。

外出を控えたことはある？

Q.これまで、排泄トラブルを理由に外出を控えたことはありますか？



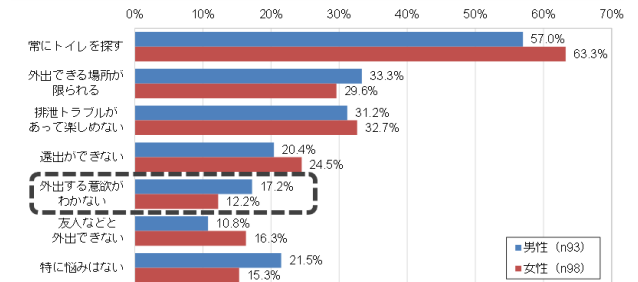
➤ 男女共に、半数以上が排泄トラブルを理由に外出を控えたことがある。

次に、排泄トラブルを理由に外出を控えたことがあるのかを聞いたところ、「よくある」「ときどきあ

る」という回答を合わせて、男女とも半数以上になりました。

外出時の悩み

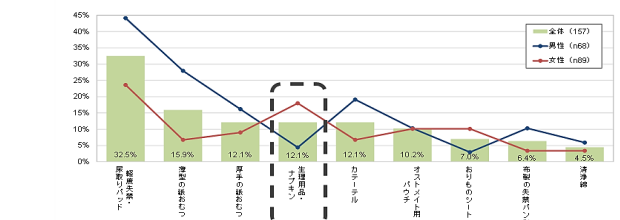
Q.排泄トラブルがあることで外出時に、どのような悩みがありますか？（複数回答）



具体的な外出時の悩みとしては、「常にトイレを探す」が一番多く、これに続いて「外出できる場所が限られる」、「排泄トラブルがあって楽しめない」が多かったです。この中で注目したいのは、そもそも「外出する意欲がわからない」という回答です。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、私たちも外出を控える機会が多く、それをストレスとして感じた方もいらっしゃると思います。私自身も大きなストレスを感じました。前述の、外出を控えたことの有無の回答も考慮すると、排せつトラブルを抱えている方が、外出できないストレスを普段から感じているのだと推測できます。これは調査した私たちにとって大きな衝撃でした。使っている吸収用具についても調べました。

使用している用具

Q.あなたが使用している吸収用具、オストメイト用品を教えてください。（複数回答）



➤ 女性は生理用品で対処している人も多い。

吸収用具といっても、いろいろなものがあるのですが、この結果で興味深いのは「生理用品・ナプキン」の回答です。女性は生理というものがあるので、その延長で尿漏れ対応としても生理用品・ナプキンを使う人が多いのですが、男性はそういったものの使用経験がないので尿取りパッドやおむつを使う方が多いのだと思われます。

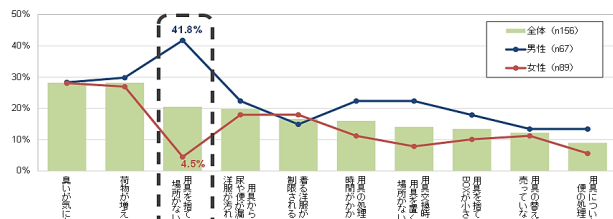
ちなみに、皆さんには、ドラッグストアに行って、

どこにこのような吸収用具が置かれているかを、一度見ていただけるといいと思います。女性用の尿漏れパッドは、生理用品と近いところに置かれていますが、男性用となると、介護用品の売り場に置かれているため、買うことに抵抗があったり、そういったものがあること自体を知らなかったりする人もいました。

次の質問では、外出時に用具の使用で困っていることを聞きました。その中で「用具を捨てる場所がない」という回答で男女に顕著な差が現れました。

❖ 用具の使用で困っていること

Q.外出時に吸収用具（パンツ、パッド、おむつ、生理用品など）、オストメイト用品の使用で困っていることは何ですか？（複数回答）



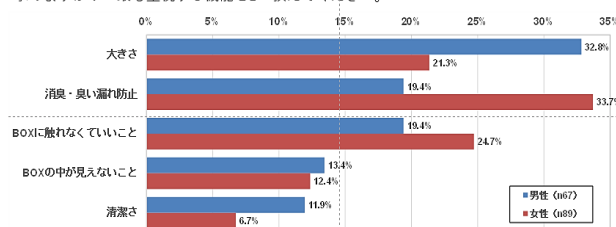
▶ 「用具を捨てる場所がない」は男性の困りごとのトップ。一方、女性では最下位。

女性では最小の4.5%だったのに対し、男性ではトップの41.8%でした。これはまさに私たちの活動の必要性を裏付ける結果であると思います。

では、捨てる場所（サンタリーボックス）としてどのような機能を求めるか、を聞いたところ、男性の回答では「大きさ」がトップでした。

❖ BOXに求める機能

Q.外出先での吸収用具、オストメイト用品を捨てるための専用のBOXに、どのような機能を求めますか？最も重視する機能を1つ教えてください。



▶ 男性は「大きさ」を求める声が多い。
▶ 女性は「消臭・臭い漏れ防止」を求める声が多い。

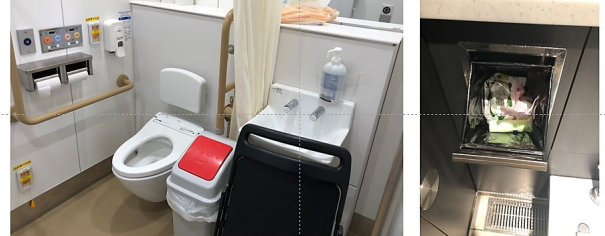
先の回答にあったように、男性では紙おむつを使う比率が高いため、捨てやすく、満杯になりにくい大きさのものを設置することが大事だと思われます。ただし、単に設置すればよい、大きければよいということではなく、実際には色々な条件を考慮する必要があります。狭いトイレスペースに比して大きいごみ箱を設置したために、便器に座る姿勢を安定させるための跳

ね上げ式手すりを動かせなくなっている、という実例もありました。設置にあたっては、管理運用も含めた総合的な観点から検討するということが大事なのです。

さいごに

❖ さいごに

回立競技場（オリンピック競技場）



BOXを設置すれば「問題解決」ではありません！
どんなBOXをどこに置か、管理・運用も含めた検討が必要です。

私たちも調査して初めて、女性だけでなく男性にも排泄トラブルを抱えている人が多いということがわかりました。こういった困りごとというのは、当事者以外にはなかなか伝わらないので、この会場にもそういった方もいらっしゃるかなと思うのですが、皆さんの困りごとの声を、私たちに届けていただきたいと思っています。

私たちは、今日ご紹介したアンケートを、引き続き現在も継続中です。下記のQRコードを読み込んでいただくか、URLからアクセスをしていただき、アンケートにご協力いただければ幸いです。

<https://forms.gle/YBke1xpqkbCTNHhc7>

❖ アンケートのお願い

尿漏れや便失禁、人工膀胱・肛門などの排泄トラブルを抱える方、およびその介助者の方々に、アンケートのお願いです。



届けていただいた声をもとに、いろんな施設にサンタリーボックスを設置するという動きをやっていきたいと思っているので、よろしくお願いします。

（要約：岡本光浩）